

様々な種類の植物の葉を比較し、仲間分けをする活動の工夫

<理科学習指導プランP92・93>

本単元の学習内容は、「植物のからだは、葉・茎・根からできていることを理解すること」ですが、子どもたちの自然への興味・関心を高めるために、一步踏み込んで、「植物を単子葉類と双子葉類の2種類に分類すること」について学習することを提案いたします。

前時までの学習で、子どもたちは、「根・茎・葉」といった部分ごとには目を向けていますが、「葉」そのものの形状や葉脈までは観察していません。そこで、「葉」そのものに目を向けさせるために、白黒写真とクレヨンの活用を図りました。

(1) 準備物

①葉のカラー写真と白黒写真(ともにA4サイズ) ②クレヨン ③探検バック(観察グッズとして)

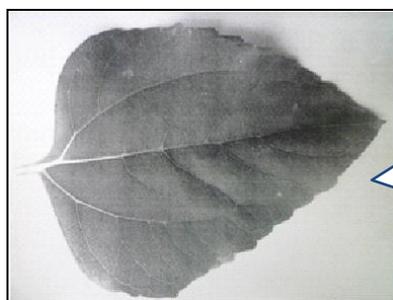
(2) 白黒写真の活用

子どもたちに「葉の形」と「葉のすじ」(葉脈)に着目させるため、カラー写真ではなく白黒写真を活用しました。余分な部分を削りとり、必要な部分だけに焦点化する上で効果的でした。コピー機の「うすいモード」で白黒コピーすると葉脈がはっきりとわかり、活用しやすい教材となりました。(※モードを合わせてコピーするだけなので、とても簡単! 写真を白黒モードでプリントアウトしても同じですが、インクの節約を考えると白黒コピーの方がお得です。)



<カラー写真>

葉脈が、葉の先になると見えづらい。



<白黒写真>

葉脈が、葉の先まではっきりわかる。

(3) クレヨンの活用

子どもたちに葉の形と葉脈をとらえさせるため、クレヨン(葉の形は「青」・葉脈は「赤」)を使って、白黒写真をなぞらせました。それにより、葉の形と葉脈が際立ち、葉の特徴を視覚的に捉えさせることができ、仲間分け活動を効果的に行わせることができました。



使い慣れたクレヨンにより、子どもたちは、意欲的に、学習に取り組むことができました。

クレヨンでなぞることで、葉の形・葉脈を目と手でとらえることができました。

